# もしも火災が起こったら

**＜火災時の対応方法＞**

●**しらせる（119 番通報）**

●**消す（初期消火）**

●**逃げる（避難）**

**＜その他＞**

○火災を疑似体験しよう

○消火薬剤詰め替え等の補助制度

## 火災時の対応方法

### しらせる（119 番通報）

火災を発見したときは、大きな声で火災であることを周囲に知らせ、一刻も早く 119 番通報をしましょう。

119 番通報の詳細は、「正しい 119 番通報のかけかた」のページをご覧ください。

## 消す（初期消火）

炎の高さが天井に達する前で、自分の身長よりも炎が低く、煙も薄く、近くに消火器がある場合は、積極的に消火をしましょう。

万が一、火災が発生した場合に備えて、消火器の使い方を覚えましょう。

### 消火器の使い方

| （1）安全栓を引き抜く | （2）ホースをはずし火元に向ける<br>（なるべく火元に近づいて） | （3）レバーを強く握る<br>（火元を確かめて噴射） |
| --- | --- | --- |
| | | |

## 逃げる（避難）

### 煙の性質・危険性について

煙は、天井などに一時的にたまり、そこから徐々に下に降りてきます。

煙の進む速さは、上昇するとき（縦方向）で毎秒 3～5 メートル（かけ足の速さ）、横方向への広がりは毎秒 0.5～1 メートル（歩く早さ）です。

煙には、有毒ガス（一酸化炭素等）が含まれています。そのため、煙を吸うと体が動かなくなったり、死につながることがあります。

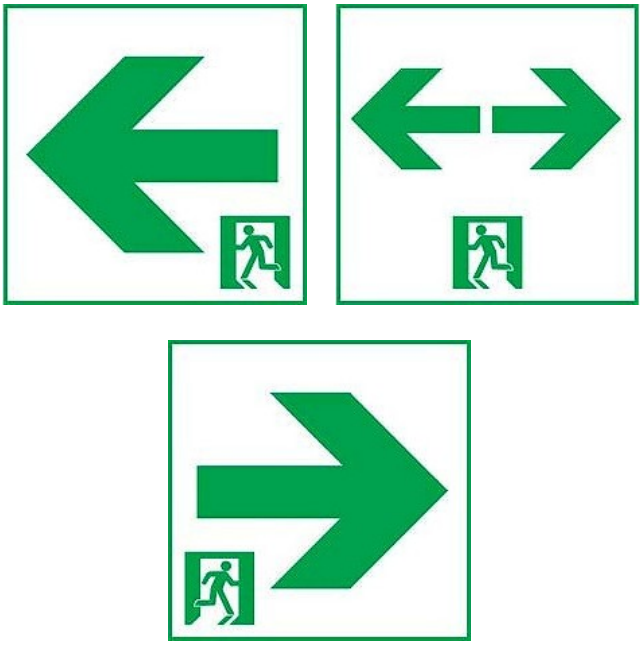
**避難方法**

煙は上のほうからたまってくるので、姿勢を低くしてタオルやハンカチを口にあて、なければ衣服の一部を口にあて、浅く呼吸をするなど、できるだけ煙を吸わないようにしましょう。

玄関、裏口、窓、ベランダなどの出口の中から、一番安全で避難しやすい出口を選びましょう。

また、**誘導灯（※）**がある場合には、誘導灯の方向に逃げましょう。

※誘導灯の一例

| 避難口誘導灯（緑色の地） | 通路誘導灯（白色の地） |
| --- | --- |
| |  |

**避難時の心得（お・は・し・も）**

**お＝押さない**

避難する際、廊下や階段では押し合うと、転んだり、倒れたりして負傷し、避難が遅れてしまいます。

**は＝走らない（か＝駆けない）**

走らない（駆けない）で、落ち着いて避難しましょう。

**し＝喋らない**

煙を吸わないために、喋らずに避難しましょう。

**も＝戻らない**

大事なものを忘れたからといって、いったん避難したら絶対に中へ戻ってはいけません。

**その他**

寝ている際に出火した場合には、持ち物や服装にこだわらず早く避難しましょう。

また、エレベーターは、閉じ込められる可能性がありますので、避難する場合には使わないようにしましょう。

**普段からの心得**

避難する方法・方向は、日頃から 2 つ以上確保しておき、安全に避難できるようにしておきましょう。

また、避難はしご等の避難器具がある場合には、その位置を確認するほか、避難経路となる出入口付近には、物を置かないようにしましょう。

※マンション等でベランダに仕切板がある場合、壊して隣のベランダに逃げることができますので、併せて確認しましょう。